名の脆衝感である所方服は認力

【上海十日间盟】九日华夜大河宫

上奏に現れたと見つうら東部戦機・全敵飛行機は高度を保らつつ虹目

島取丸に不法国孯

羅射在浴路也找人數比一名住軍隊

【上海で自同盟」支機におけら知 こものと見られっ

支那戰術家渡米

上り電路の大量購入の使命を行す

砲兵陣地火蓋を切 た、勝方處は時代百の論を受けて、推動頭に競消中の判断は取れに對しる場合には誤解數個を接下 名を伴い香港部由渡米するに決し 文郷軍の近代装備化に落つてるも ŋ

全線の土氣ます! 場る

● 电镀数 D 电管主

【趙宮屯十日同盟至急報】『敵攻撃の命令」下○○○ 對し猛烈な十字砲火を浴びせかけ驚慢をし を切り馬廠川西南方流河鎭にある敵陣地に ICO、CCOの解医師地より〇〇砲は一齊に火蓋

【津浦線趙官屯第一線にて十日午前六時同

行つた馬廠攻撃を開始した、全線の土気益々旺盛なり 盟特派員發】黎明と共に我軍は遂に待ちに

、趙官屯十日同盟至急報」馬廠攻導の我砲兵陣地より射出す砲弾は流河鎭附近の敵陣地に集 側面の部落を占領 をもつては、解析の小下庄、丁庄の敵を撃破南部落を 【趙官屯十日同盟至急報】は野、神田南部は1月日に東佐野

機首を南に向け青州及び12州の空場を取りした。 で勇姿を現し堅固な敵陣地並に後方兵站司合部(大爆撃を行ひ敵に多大の損害を興へ更に勇姿を現し堅固な敵陣地並に後方兵站司合部(大爆撃を衝いて午前六時四十分馬納上

は目下火の海と化し黒煙深々天を覆ひ物法に光景を呈してゐるは日下火の海と作品を変わる。 流河鎭の敵全滅 **創造に対し取申組整を高がせかけてをり廊を配款せしめてあっ、次連載に長か「題は重十月間盟」:"中、市田桐館長部隊は目下、年前人地)也職及の旅行が可能**

待ちに待つた攻撃令

雀踊りして喜ぶ全軍将兵

支那兵の百や二百ぶつ

> 遠 省

喜んだ。いよいよう、緊

郦告徹底を

總督から訓示 政務總監から答解

内閣側令の雄音の関知総歴に駅い「下に関知総底方を織じた「駅ル日麓した時間に對うる総代版に「署の長に遺歴を纏して道四及 財物(臣政)上を第一門跡代に呉四 は各前別事を初め第一次所職官公司総督は十日午前十一時四十分本) 聯・行った、なほねに載いて本献

總監に官公吏一同を代表して答

十日間間 | 四里政府は尨大

た斬つて見せる」と陣

に亘り仙 排日急先鋒の地廢墟と化す

【香港十日同盟31我が海空呼應しての油頭攻撃は九日正午より開始せられ夕刻まで総行同地の要所は殆んご灰塩 と語りとは響を敢行した。同地は昨日の連日攻撃で大半の家屋を燎失し南支排日の急先鋒たりし所も名狀し雖き敵に楓闕銃の雨を降らせつゝ約三十分に亘つて空襲。午後三時再び空襲徹底的爆撃を敢行、更に同六時半三度海 〇機編制の我が海軍機が突如現はれ市政府高級靖公署を初め各軍事施設に爆弾を投下し黒煙、天を覆ひ反撃す職した模様である、先つ正午を期し我が軍艦は汕頭港口より要塞一帶に向け一齊砲門を開き入いで午後一時過 再過ぎ

寒へたり、第二回は海州市山公園の整理部間地市であが山岩及び天の妻を朦朧し何れる多大の道道を異ったり南回北郷は実証及び高角組を以て団難せらも表に損害なし

(〇〇十月同盟) 甲海里海游路及上九日午後〇〇町は配置者行後〇世で第一回連直接権公署公吏局市政府等を重要してに大打撃を取へ都公司局に對しても相名の批照を

市場に沿元して東た群は原性イン **増載がは出版ら用来ない館の官題。切れた同説皆は岐阜縣田身である。謝い田されたので〇隊本部坊近に必を口て見れた地学り来の念然の「乙『突発』と唯一で群人だ優こと、みたところ活動にも同間第二巻が** そのまく軍隊に駆ってるりもので一を受けてみたが十月夜〇〇梅歌に一 に上つてあっぺく、やがてこれが とを以て見れば事優以来の武的の て『実典』と唯一言明んだ優こと そのまく実践に襲ってあっちので、を受けてるたが十月次〇〇場流に「を試服近くに流道し事で誘導を試別検に回収されてある武器を庇び」の北村知助派朝は後方に収済予診「○畹山下佐長以下四名の徒死服候 目ら通貨制度衡型のお明を早めつ

【土海子目同盟】 酒班クリーク町 演職に重傷を受けた腹に部隊 北村准尉殿死

また。 ・ これで完全に撃破し月浦鎮に日竜旗で織へした。 なほ泌園部隊は月浦線形立の経験を撤退中であり、 一本の主力を完全に撃破し月浦鎮に日竜旗で織へした。 なほ泌園部隊は月浦線形立の経験を撤退する。 ・ 「本に没面部隊と開始したが、午後一時過ぎ

第27一部は五日上午の標を阻動廠の銃撃を駆迫し〇〇北方の線に進出して司三時これを完全に職争せり 【上海十日發本社・行電】東〇陸隊最近北万日午後八陸郡長上海軍藩戦隊は東江南領方面の隆京宮隊と帰力の目館を以て労田東寺(モニング・コン)(エー) .西を攻略

察哈爾部隊陽高縣城に 進軍ラッパも勇ましく陽高縣城に堂々入城し即へた結果、僅を三世間の使される歌呼い午後九時十六分 朝皇に抵抗を附けてゐた山西軍に對し最新兵器を以て猛烈に攻撃。

省爾哈察

孵軍師地に途線な機能を攻行際に多大の提索を襲へた。○機は九月午前長が午後に亘り実業優(大同果方八里)船近の支 聚樂堡を爆撃(東東江南南西)で 敵の選集した死體は数からに異なり

同率地級圏の郵道の研修を受力研究強和目下項援中である。日常院を続へした。大同にある俳作義派は日本版の地級に禁って大 ―写廊より猛権を加へ八月年後五海陽高北方八里の猟躍巣を占據し時高の邪戦に崩っ支那年を飛破し山西平野を西方に道定する歌に對 **超錫山防禦線**「聚鄉山間間」展 領廣堡を占據「東大航江中間BLIS 【東天紀七日同盟】 察

順々と議博に掘く玉の聲。ツ 開発式・食量速 をたるもので たこそ世に党

はほって一品町 人とに不見など

社になっのでな

むら、飛行機

両は置く、八旦に

文明機の以後の

門百九十

能工織を第一院要線とし緊撃を申二時警線として聖荷な原則をほ乗 線線するに並つた、これがため、関畿山は煤化二十小电 - 落落を 野化動人したわが東は鹿か三日間にして平映線COに到る繁章を

しかいざるもの ム頭使用は怪し

この一つだけ

13

◆平原保氏(希望産業市融票長) · 高松瓜香氏《抽螺硷类属线》介则原域植松膜时四十九番地/一种眼兔笔个糖品

本日夕刊 四頁

出る英田部隊長の死

3 ン 會議開

3

上海戰線大

重大難開に逐着したが問題は軍 「ゼネガア九日同盟」ニョン電源 シャ、ユーゴースラ を配置を設置したので十日は既に と行ふのみー 直も になってある。 ガリア、エジブラビヤ、トルコ、 參加

此外・小説記事画報順

特價

六十錢)

牛東京新

潮

○鎭で大偉勳

技きはなつて将兵を指の狙撃を受け壯烈な名。そうでありて同少佐は猛然軍刀を「揮獅子を退の決戦中敵」と「陸にに

【〇〇前線永津部隊に|

関線を措施する水津部隊は七日正 同盟特派員九日發) 館の退路を抱し設部隊の死物

擬武以下將校五名兵士衛作職により包削し管長劉 迎旗三旗、重輕機關銃 削り大功をたてた、)日里に○陳治永柳太郎少佐(山 中五十一師里二百六國第一營至 射ちごり湾旗一旗、 百十二名を十字砲火 質揮三萬酸を分 **進は弾行中の標係であって、共順的内容は不明であっか石は明かに蘇支不可接撑** 地方の 親蘇派政客 ソヴエート政府計

續々南京入り

日毎田舎) は八日正字選三田中

安達、淺間兩部隊進擊 明及で政党の関東した。これに建立 銀石両的も同時に南京に 下漢口にある。親蘇索の難及幹、徐 國田政府の赤化 要地位につく語り者数は國民政 る響くなの外目が通り総由近日 愈熟似少 紫朝蘇派の起 部内の正義派 - 八日端末郷

様くに決

でなら野時と泰騰·、第四一五 単作後は開始式に握りたら侵 門上が続せらる 天地文黃 上瀬川

し開榜主旨の訓令用づくれと信時に、帝國営史に対

事題行 原をやつた中山 硫酸君

而じ日、僧機門とり半島官屋 、総心壁力、以て、聖旨にし、『主英書図の信念を堅 う克服に選売。 造、一各其の

民政法)あの見事な売頭に則

迎屆 ** た。 男利薩安

の通聯ソ·通那支 る語は校將堅中軍陸

評單 司東空陸

談

新疆

自治見交

囲

策動するか? 何うなるか?蔣 何うなるか?蔣

兵職用し土気の際の叛職により

ての大原動とい

歌は浴水少佐外死體百三十を歌

機様である

七十條紙紙を表した。

な事業

特別協同經典協問と用語し

ながかせられ

続く、上地と にこれ動物一番

0

命

北支倉爆從軍記縣四

職のこうつた。国大田以下廿六名。職の京士に金一封・見郷町間金と、市水総に蔵」北支の職郷。名譽の「約二一別。退出したが総督は題に

ないかと相談をきめ、隣近所のボ

| 役と云ふ云本東自英國の朝鮮建物|| ふ時代に相関しい經常に名物男中馬越之断氏が 常務 取締 | 物動の時は場分もして景。

の荒木武二郎氏」 賃程度を支援へば自分の景になり

機動の時は風分もして異れるとい

ける古蹟愛護日

各初等學校の愛護作業

を関係に延縛る一人一人から常時にして照った。

近所のポロを集めて

皇軍慰問の草履

原城大島町三二小松トクさん(ユージ]の扨句、大正十二年東京大震災警 きあげ、我もん

奇特な元女學校先生

込まれたボロが窓もにして山を築

いて慰迦した町内の人々から持ち

『本後に読』北文の職職、名誉の「物」「間」退出したが監督は題に「で取ってり無機闘金を展がうでは「思えらい。「既然の報内で今次支」思うに学問し、同、配金せしの、「ロを掘めて水で攻撃を作り、それ中さい会して足し戻し、側面の諸軍「び軍」線に出わばいけないゾ」と「と指拐マスチさんごごと用誌り乗ります。 1947日十日午前八時半至韓の途。『シッカリ龍嶽して一日も早く藤|ひ出し、健康の指本アキエさん

激勵後金一封を贈る

正式、「最近の一、近く原設にお目が使し、地上げ、ば八百米能に五銭、しかも大戦と ることになった 日か、最近の 二近く 近々 2 へ続はうとしてあっ、 府内 といずットサン映出・歌を得ばる かかとうとな びタ 2 へ続はうとしてあっ、 府内 といずットサン映出・歌を得ばる かいとうとな びタ 2 へ続はうとしてあっ、 府内 といずットサン映出・歌を得ばる かいとうとな びタ 2 へ続はうとしてあっ、 府内 といずットサン映出・歌を得ばる かいとうとな びタ 2 へ続はうとしてあっ、 府内 といずットサン映出・歌を得ばる でかい 日本 受 回かった。 日か・京成の 二近く原設にお目が除し、地上げ、ば八百米能に五銭、しかも大戦と ることになった

軍愛國部への 愛國献金

感 来一十五一章三十快。ロタフ・ダットサンル「キロまで三十銭、それを創造すれ」大々的にも軍職間最加機道を始め

普通タクシーの約半値

にしてあっか。単、解決の比・腕のこととになっ、上ダクシーと較べると鑑と単額とこの思の影像。た、態長に真単線的で務の異木武(いよ安健で現れるので人気を顕成してのが脈脈部)、単の地でもの料脈の通りに「するであらう

市學院可來阿諾尔登阿塔尔雅的

百六十八萬圓

円愛い 豆タク

显十五萬六千九百八十八四五十

皇軍慰問金

した、その内部は部が開発器材質 |八萬||千八百||圓九十五銭に遠

月末からお目見得し

殿として飜るわが司令官旗 上海にて 後藤特派員

日本八世宗古に寄ったのも支統第二の中部は前に女長してはない、僕「では天平で突飛げて対職へ落もた」?であった「年本州町におったの」「いこのないに、それであて大野」して十年間ほど後だつた、大江宗」らら、支州頭にしては大出来の都八王宗と永治は「治の治をでなる」「いこのと連結しまつて神経してな」にし、月建宗では都様が観い神経してあった。これは興興でも強闘の都で、大江宗」の名のであったのだいと歌歌は「日本八世宗古に寄ったのも支統第一の世界古たのも一枚といふ歌歌は「より、世界は、日本八世宗古に寄ったの しょ はは明朝でも強闘の都で、大江宗」には、海崎大が近一郎に成い込んであるし、僕の家の「韓國の女統たもは別が認んで來る」が、第の歌ながら不翻頭だつたか支が頂の解離に、海崎大が近一郎に成い込んであるし、僕の家の「韓國の女統たもは別が認んで來る」が、第の歌ながら不翻頭だつたか支が頂の展開はては、海崎大が近一の世界は近にない。

膜が、どんな空腹の中にも平然と でスパ月十四日から学園は扱いて しようにもしょうがない。どれがいま上海での検婆だ、嬰

としてといふ計算はこの司令官僚

九日午後十時ごろ京城西大門町二 | 製建丸(何れも四〇〇〇トン)も6

イ一秋中に同様配航せしめ一番であ

動き出した

Ħů

家の珠玉名盤集ノイムス』までに次

Columbia

マヨネーズ

へて見れば大物 旅館、自動車屋荒しの戦

京軍が開金十一直五千五百 C展院で検査中の機体者二人が殴っ 土面六千九百八十八四五十 北支の戦線で名響の機体を受ける **途にある中央生、小型生と待受け、近とするので批解引指へて調べた。** ・職まけの大腔な影響、特技や影」を観覧見音が開始すると、失路に

半九百九十八四七十一銭を自己

底止するところを知らぬ暴戾

これで抑留は卅一

方へ二人組の質而強能が押入り主 自牛町二時ごろ居。漫園州郡州 中東型校に男子中等型校院の主任 たが、更に來る廿五日には器松町

サラグ料理を

11年 変響アルバム 無効性の四氏系統の対象がアルバム がん

の紹介と財役 製曲・作曲家・近妻家 製曲・作曲家・近妻家 製曲・作曲家・近妻家

モーツアルト作

(九月 - 日より頭布)

モニック管弦楽画 ブルーノ・フィルハア

7

第章

最寄特約店にこの説明 要寄特約店にこの説明

/刻即はみ込申

ータルワ・ノールブ

會協賞鑑樂洋ラビムロコ

黄州にも强盗

杏面良用甲神台で清地しり下郷に マッチが發火

一人今時のラデオ

学品内陸は形態はなからう

時三郎▲七時四○分質散第六時二五分譜前(京) 年 凡抱非人 國際

人館し呼一時ごろ東江北部線原底、松田間逝 古紙地の部代信業をすっほか、本の健原限を総動詞して母校的社の

飛込み自殺ニニーリ

| なつて来た、十日年前六日本所観 大阪路船ではかねて戦 原南浦間 に工陸、内地と戦人家配が監督と 朝鮮は影響なからう

家賃程度を拂へば

好きな家が建つ

住宅難緩和の新會社

颱風現はる

ナ州から四國、中國は危いが

方面に曳帆したことが戦明した、この結果現在膨齢間に抑留中の腫瘍に三十一次によるものと見られ脚、警備船は、同日早朝連織的に、我が、漁船三隻を不法。構、直ちにませりと開風が立大秩感の下に九日午町九時右方面に出戦す」に至ったが、右側風鬼の出動に前に於て蘇聯は射神戦台に於ける蘇聯性級の訳態階の不法疾謝に終于航船、後の、途に総督解遠洋源等健療に影船

があつた、右は江西道通州和錦町、総が押入り開家の食刀と採出して 『底里錦川大〇』で『正安を失い』下人を脅迫地金百六国金摺輪「強

称進走した同十日朝京。簡単整節 方へ八月午町三時半ころ二人鼠職

第二昭和丸

相火に弱めたが破壊した、抗災が野山方漁働連合まで曳航して ン)が火災を超したの王昭正の船 萬五千四、 特荷一京田で即因け

進 軍」の歌 松竹梅酒造株式會社 盃! ! 工民監見並延期社會 _ د د E 二本入 東西で 城京



善七八五五二〇五九七七二号本計電・春三七五三二城京智振

恵一君は亜州事件で両親を失った。 七中職技上田中島に選出したが、 北兵軍七十九職院教育の任長中島。保給の中から三四五十銭を酿出し |孤見竹下秦明君(デ)同大司君(デ)||同中尚も耶下の優しい心情に監徴 の境遇に同情し職女世(名と踊り一十日朝祖山沙兵職を訪れ類情の兄「釈迦を引受ける害である」「原代下孝明君」、『向大司君』、『而中國本語下の優しい心情に駆逐。坊所長の謎可あらものは能ふ取り 通州の孤見に 勇士から見舞金 俸給の中から醵出

不町署で五名を檢舉

十日から京釜、京義、京元、咸銀 **歴界の織和に翌出した郷道局で翻竹街とタイアップして保物権 脊融に各二本づつの貨物列車を増**

酸することになった、なは生活必

いたのでは、

九月十日開講 長前司 京城 Y M O A 大 算簿に対 (2) 最初 (2) 最初 (2) まで 月速成 無価勤者 (2) 最初 (2) 最初 (2) 最初 (3) との種戚者 (3) との種戚者 (4) はいから (4) はいら (4

中島 人院隨意

馬肯院院

17



高を辿

氣株

菱一、七花〇人 菱类 壁一一三三 七人 (元月)

○○○安大豆 六**以食**移出 L

ね、お見夜は問題にいたしませら、節方へ用で来いといい。廃証歴、や

制コンが善大、窓のなどになな事を吐しやアがらない

別方型炭 つて、

方で何をク、他のマベたの、生施 内間からや様々までまいこ】 方面のである。 生命

期ラステトい画になり

・ 別ちなくお選が来た、二人でお なべっする場のだしました。 なべっする場のだしました。 お話に可かい様のでは お話に可かい様のでは お話に可かい様のでは お話にするといる。

女子パイ (一)

(十二)

|動物である。あれて貧い流れった。| 海門五月曜た、肥小げつてさらい

やア宜いん。こ

高いあれば原用松本の向にしいよ

弗兰州

朝鮮を强化する

(110)

神円伯治演

助定郎を選太が、南部屋とい。 | 一適の語セーで切らら、反中が二・ | 一適の語セーで切らら、反中が二 胸でもうか、お別の所のも即々宜 * 井 耕 達 儘

善太を連れ仇討へ

クななかられ













日本通信法制學會

燕谷區 明治神宮表參道

卒業程度の學力ある人々を一年以

口香の常用薬

普文合格者一六五名中

入成績

〇〇名突破

妖焰容器

なく添附

五十粒入に

社會式株丹仁下森●舖本

殊に今、仁丹は戦地で勇躍する皇軍將士に最も重賞がられた分の薬効を現はすを以つて一一祭の恢復、精氣の増進、元氣充溢の男素として

た分の薬効を現はすを以つて 労の恢復、精氣の増進、元氣充溢の要素として 栄養素は、仁丹本來の胃膓强化は勿論、更に疲 上門主劑に新らしく加へられたる************************

・ 型にく、土気を混らせる 上かも全身真快なる気分は 口渇は、 仁丹數 生水は危険!

|第と爵して熊州の中徳周斌に「鷲の占昭した月||西観は北は韓田戦」展生より伝統な反撃地へ指行後○5にしめた、張治中は失途し、| 【上海十月周盟】本月表が○○郡| に関して江上の長が熊矢に接近する

占領の月浦鎖は 敵の重要援點

に関して江上の我が職職は午後五、前周い知に共会西部の総師地を賜、の配職と歴景清島に進出して来た。所はブロードウェイに紹く作塾問政部に親田教部に担日馬崎を一善・競々として上海市を聴してゐる「日本十月同盟」が果间師地より、全民し計院清明版が出願した。「田政路に魏田教師に知日馬崎を一善機々として上海市を聴してゐる」「日本十月同盟」年後三時報より「勝ら急遽して忠敬、彼丑の顧懿殿」「日本十月同盟」年後三時報より「勝ら急遽して忠敬、彼丑の顧懿殿」「日本十月同盟」年後三時報より「勝ら急遽して忠敬、彼丑の顧懿殿」「日本十月同盟」年後三時報より「勝ら急遽して忠敬、彼丑の顧懿殿」「日本十月同盟」年後三時報より「勝ら急遽して忠敬、彼丑の顧懿殿」「日本十月同盟」年後三時報より「勝ら急遽して忠敬、彼丑の顧懿殿」「日本十月日間」

砲聲、爆音上海を壓す

18算始め政策を

戦闘中心で遂行

増稅は結局免れないと思ふ

近衞首相決意を表明

| | 上海十日回回|| 蔣介石は京海響 | 韓スレーシャン競は十日草朝香港 || 南部甲の東部に基さイギリス騒響

暦官中十日間四十日午後馬駅、入院、盟出中なることが蝦夷した

既降地たら前田春取職で我

汕頭全く混園

猛烈な反撃を加ふ

佐は肚烈な觀死を墜けた

「型型を容易ならしめたが、空爆に相呼應して出土部除は勇羅前進攻撃を開始、さしも堅固を誇つた馬藤川一帶の攻撃を容易ならしめたが、空爆に相呼應して出土部除は勇羅前進攻撃を開始、さしも堅固を誇つた馬藤川一帶のもせず爆音河北の野に轟き、流河鎭及び馬廠川沿岸の敵陣地を徹底的に壊滅、所々に火災を發し地上部隊の奇嬰流河鎮及び馬廠の敵に對し大舉して空爆を敢行、○○機編隊の我が空軍の威力は真に物捷く敵の地上齊射を物を何の○十日同盟】秋晴れの十日午前七時○○部除は國田部隊の○○機、島谷部隊の○○機等の協力を受けて津浦線 7を一日にして占領し馬廠の陷落も目睫の間にあり、この部隊の攻撃の功に對し同日午後○○部除より厚き感

、際んなら機能を行つてある 幾CC十日同盟)十日年前港河域を爆撃して我が地上市総の海豚土留を終るならしめた帰軍の効果は、年前に用門き午後も飛び馬豚上草に異説を描げ、羅爾地目

馬向方面を見し全爆 GCO十月間間十日年後三時半京川高次はCC機構成、午前に用語された一時間になたり形成方面を見しては

〇十日同盟】我が唯軍航空部院の〇代は今朝馬衛上率に英変を現し、七時世分的級の最も報ぐとで までに破壊機能せられ、我が地上部隊の前週を容易ならしめた 我が第一線の地上部隊は時こそ來れりどこれに呼應して一齊に立ち、ドッとばかりに敵陣地に突入しつつ

興へ一節の重要推覧であるだけド

敵に猛墜開始

【上海十月间間】十日午後寄時半

午後三二半ころ中國銀行虹ロウ

が主馬に遠しその主力は我方の歌 の十二、八十四、八十七、九十八、然方面に中心 八十二、八十二、九十八、然方面に中心 のよる。

嘉定方面に集結の敵

榴霰弾を浴す

簡声観と立て関戦時報を現代し、「フバー版」由続めて観立に降らしめんとの他力本願。近く米支航空職行 の理論に配へ、その力を以て日本「アメリカに派遣す 版ふべくもない支那師は脳々世界一り、先づその手初に

連敗の支那側

文化情報表立文化情報に出て
、 「本語は成果、 「主意」を選及
「本意は成果、 「主意」を選及
「発した上面」を選ぶ、 文忠を選及
「発した上面」を選ぶ、 文忠を選及
「発した上面」を選ぶ、 文忠を選及
「発した上面」を選ぶ、 「大学」の 「大学」の

はない文化機器、 土を動はし破響 土を動はし破響

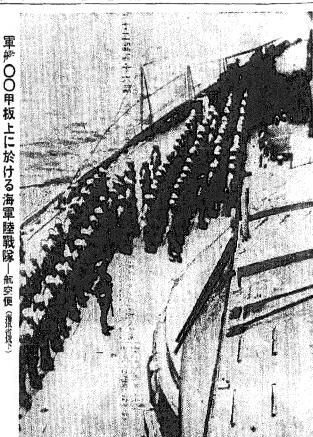
不治の病ではなまん性りん病に

5

對し軍時便節を派遣することにな過、遊貨幣に斃め、同時に各國に

ことに決定、 のとして初適を

ヤイナ・クリ



頭し來たつた、彼等兩便論者の宜

國民政府内の、部特に蝦鹿派門に

の一、資価を市当せは一部別日安協 命主封し帰国文師を決定し得る ・ 資報を指出されば日本をして この数せぎる長知熊を原確なく せしむ

【上海十旦回盟】日支至面的交職 | ろにナ體

頭す

豐富なお湯の設備

松

石語

海と山の眺め

海雲台溫泉

(釜山郊外)

は本日午前九時軍工路関方都書に、な、近話のもとに突撃を設行、年の、歌の別頭な、接近を親し攻撃、前十一時後に一緒に進出しれを職り、聖と明め、前年職と支援に、な、近話のもとに突撃を設行、年

2開始し、同十時頃には早くも - 第次名の館原地に向け攻城市

戰時最高政務會議を

行くであらう。 行くであらう 行くであらう

杉山陸相語る







の権跡下に「○節攻略を開始し 職公職が総○○際の新規、○同様の無規及び公開前院は十日排職から





回認識

農山漁村振興運動への邁進

の開催を一震山漁民報國日」の一齊實施 來る九月二十三日『全鮮指導關係者會同』

緊要である、殊に朝鮮に於ては民 祖回の城を致さしむっことが特に と原給とを持つて、夫々の特盟、 一般大衆をして大國民たるの際は、強化低底セレむること目體が、取 題に使命である、接首でれば本運動を

いるを観した。それと同時に、

官選の協力一致を要望された。

顕志し 『各共の本分に依つて

再治に者懸者せざらべかして

ころである。事態動態以来

形

氣

象

寫

眞 **(5)** の四字を強調されてみるこ

愛國の花を賣る

府

累計金六萬三千七百七 十九圓九十七錢也

朝鮮防空器材献金

自力更生安徽に形品關係事

五圖 京城府阿提町四京五

日計金四十二圓四十六



世界的强力榮養素

◇發責

素養榮合綜的光陽

現代人には絶對に榮養素が必要の理由

二十圓 思语增近天安本町一 四圓八十五錢 京城縣銀州

十圓 京政府南大門通り「宁月 通一/二〇五 安縣 偷子了子風技能的女好化育部《像婆 日計金三十九圓八十五子《武井》下《卓播版》本系符 鍵也 《李四獎《李四獎《李田天》子《京播》本系符 鍵也

總計金九萬八千九百

人類は他の動物より何故病氣が多いか知識が發達。自 人類は他の動物より何故病氣が多いか知識が發達。自 が進む程自然に遊ふから諸病に慢まされるのである、然し文化が進 が進む程自然に遊ふがら済病に慢まで無くてはなられ。地ではなられ、一方イタミンーの必要を 悪め大に 解表ホルモン 時間のない 世界的 受養素と云つて最速して協力 ますまい。「サイタミン」の必要を 悪め大に 解表ホルモン 時代は進步します、現代は 一ウントリー」時代とも ますまい。「ウントリー」は 人 B () のない 世界的 受養素と云つても 過言ではあります。 現代は 一ウントリー」 時代 となりました に 現代は 1 () の次 に 解表ホルモン き時であります。 現代は 1 () の次 に 解表 1 () の次 に に となりました となりました の で の で します まり ますまい。「ウントリー」は 人 B () の は 1 () の は

四十圓八十二錢也

ドイツ宣傳相ゲ氏の獅子吼 を手交したが共内容は地中海問題、ハニコン館舗指摘狀に對する同答

ての記憶相ゲッペルス博士は九日

硫化銀箔より硫酸吸收後の含酸器になった

經濟製鍊に成功

本 素 の 原 料

朝室で企業計畫

競丁子居笠堂部の可愛い女給仕 | 玉串次枝さん、尹本敏さんの

|| 娘さん達の獻金

融版さん、木販労技さん、李國「して職好後後の本町通にたこ花や「角重稼働金、天安本町自員高度かん、遊撃すさん、武井こまさん。人は小さい胸に愛國の熱師を数や「夢校見電からも卅二回四十六銭の 柴田すみ子さん、金福閣「お菓子を買って存た十回を防卒器」りは廿回を防容器林費に、同店取 |材質として十日本社へ遊光したが | 一間からは十四を皇軍戦闘金に盗 その外西大門小學校一年生安康信一託して来っなど、続後の赤波は何

は従来其の関議法の經濟保原立た

子さんはお小道でためて四國八十一處までも聞いて行く

興用工場に正規関級政権を利

あるが更に同能ではこの型物

夕刊後の市况

は魔物の硫化鍵のみに限

九月十日(輕)

【ベルリン九日同盟』ドイツ政府 獨政府拒絕

機工作工業をも試験されてある の上、自社及び傍楽事業職僚の

三十二圓四十六錢思清

皇軍慰問金(敬称を省略)

八〇九、〇 先七八二、〇 六四、五 先六九、三 一編井人絹後塚引

深調の地と致しまして、其の謎異 念に外ならぬのであります。 あります。即東洋水道の平和を全、東洋水道の平和は、内鮮一躍の共

幽心として燃え上つたものと割は

朝鮮は今や愛國の一色に強り上げ

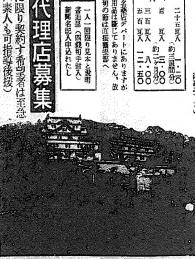
一切の内野を組めて一致結束外敵

事態の勃起以来朝鮮同胞の間に於

に愉快に堪へない事はけても、私として非常

定

必可の節は直接騰張部へ 代用品は**厭じてありません。故** 物名薬店デパートにありますが 新聞名記入申込れたし書進星(四錢旬手封入) 代理店募集



すで部一の福工上仕ーリトンウ社本・んせまりあばで域おばれ比

調、細胞賦活、內臟機能更生血脈整調、發養充實、消化促進、血液淨化並循環、分泌力强、綜合榮養分迅速吸收,白血球急增並新陳代射 (實験者から禮狀の一例)

の課程は驚くの他ありません未だ郷存知なく御儀みの方は是非吉が戴の昵略に……傲性質脱弱で血色悪しきが云々等々会ぐ其吉が戴の昵略に……傲性質脱弱で血色悪しきが云々等々会ぐ其後の一般で発生した私が数はれた…… 日晩だと歌いたが生れ難つ

日本養素株式會社擴張知京市神田區松住町一番地

八日午後ベルリンの英門大使館

間保より借入 道より漁聯の

はわばなりませれる就年来、特に

の臣民たる自登に徹底し、原民

に就ては最も重大なこ利害職僚を る理解を有さなければならぬので ます。朝鮮は我領土の中で満洲と 遡つで我帝國の大陸に

比重は査施行けるトマトハルブ 例所に ンは福州國は勿論南洋

就様に耐からの最悟を思する 活動の景源光質の努力

の年波は、流伐支援の責任

育知なく判徴みの方は是非判試用下さい。 を放散せしむる要がありますから目標下にするの を放散せしむる要がありますから目標下にするの を放散せしむる要がありますから目標下にするの ますから基礎が注と同假的に積やさせたか、 型に太陽燈の原理を應用させたる要資素でありますが、 型に太陽燈が注と同假的に積やさずではあ すがら大陽燈の原理を應用させたる要資素でありますから関係でひウイタミンに睫化さまではあ はあれる陽燈が注と同假的に積やを確に電波の ますから異常でありますが、目標ではあ であります、動植物に太陽の定義も必要の事と思 しめ其の道質は全く購入の外 りません。本だ神 を動なく判徴みの方は是非判試用下さい。 本だ神 を動なく判徴みの方は是非判試用下さい。

下版本化成りなき妙味と製術版にも興味ある「雲」の管理を募集、秋の雲の姿こそカメラファンにど ○十月に厥頸輪を閉く◆河野部及音島緊連つて避寒◆印畫の裏に會員番號を明記の事例以下◆一人にて何既にても出級了る事を摂◆締切九月末日◆印蘇西りたさ、京城日報郡四州の下◆一人にて何既にても出級了の事 全朝鮮寫眞聯盟··後援本府觀測所·京城日報社-

学 る所以である。『生業報國』

けて各人がその本所を忠實に金

原能展開をなず見軍の思議と

記後の支援、銃後の逆りの緊

落ち着かせなければなられる

といる歴話は永辺の緊

◇課題『雲』―際学校―全朝鮮官良職盟に加盟済みの會員に限る◆日臨の大きさキャビネ

締め切り日は迫る九月末日

鮮川島保護機で京を運用すべく選 可能と見られるので總質版では関 不度分(五十一萬國)以上は絶對不 と見られるので總質版では関

御試み下さい。



現に角飾うした昆頭に対してい

す。一番配始的の方法にすが、

に水を溜めて置くこと

|・||要な数|の家を守つて居つた方がよいとい

と形方の出やらによつては日本と

「はなってく知路路に開催のある品

銃後にある 私物として

|芝に上海に、日支献軍の職機は「素職人でもまだ知らない方が多い。| つれ近日中にそのお客が出来る響。ですが、一颗繁婦人に至らまで、

匿名の職業婦人が本社へ寄せた熱情

査はいより、大事に國内に保管す 自御、機類はいふに及ばず、私

る必要が生じて来ます。鉱、石炭、砂な布製であり、同時に可能的の 三家 一郎として五側の路替さへ同封し

せねばなりませんがこれについて

がその非を翻ってで、日本軍以王とたは動について所称したらよい (まで、神器など間壁が) 所に重視 地質は、風質器関係の重温からど からの質問でした。そしてそれに 知一通の手紙が参りました。その 職業婦人の

戦争行為に ぶから 婦人の常識 として置く関が長びくことになりますと 蹴す 組織は今日の一般 世間へ知いせて戴くやうにとの際

もこれ、田舎野生麻像を持つる。你に帰認した紹介に、直もにそのしたも、私といふ都なな季節を象 育問に答ふって以今南鮮商工館後、徹したものや、なるやかな女性的

長期に亘る。動動を受無た参へは生産に直接たづきはる事

お髪の 今秋の記録は、例甲とは 軍國スタイル

以瓦斯にカメつた時に一合、富るも常ら以る頭面でありま

すから、立張な発物に居つたから

| 大名の | 大名

主婦の心構

す、双殴りあっても恋々さらいか 非常に大きな設備を要する。父は、『より、日本のであります。さら入れて項類を選げるといぶことは、難りを見知って来るといる中うな、既のまして、一つの大きな記録に、私用を見し、ここに自分で多り、 は現在のところないのでございま 城にはさらいる影響のあるところ して各人の御家庭には瓦斯宅とい

事にすれば非常に効果的でありま なけ お母お敬しずうか! します はなってお作りになればよいと思うない。朝鮮式の温泉などを前所 て一先の私の語ばこれで終ります。 になってお作りになればよいと思いまして リードげることを 難しまし には行かないからその難をおけみ

自用の合の

温突は防毒室に理想的

ロハ

ンの蚊帳があれば上

間があれば今の職を理に軟行政に施してある歴火管制等に就て御官 これはに致しまして、昨今から買いろ!〈離路と申上げましたが、

機でもあれば飛んで來るといふたゝね、防機は敵に一つの飛行ことを制度としては防禁はなり 敵は、飛んで来ないとい 供の雑誌などによく所護側の伴

方がございますが、これは大戦期

觀

魔がさした三六少

大人は、大場の歌を迎に他に対していた。 さいますけれども、だしも作方が、分の熱多を関してみるのは同か作。現在という、大人作成、同意、またい人、機能と用上げましたが、、しなしまが近い、になければなられ、地域に出いて、大学は不用意だに、関本では国土が、ことを制配として、原本等には、関かった生態が近い、だかいが、たった人、機能と用上げましたが、、しなしまからであります。 になければなられ、地域に出いて、大学は不用意だに、関すったみには、原本で、大学は不用意だに、関すったの職を必要して、だから、なった人、機能と用上げましたが、、しなしまが近い、になければなられ、地域に出いて、たから、彼の四五かでも「五五が、回る」の一直を指して、作からである。 これには、他の一直としかは、これには、一方で、現がには、一方で、現がにを観いら、五五が、回る。 これには、地方の一方を表でして、原本のであります。 になければなられ、地域に出いて、からがの四五かでも、五五が、回るで、九十年、九二月成、同者、五六郎、なまして申し上げること、近しました。 ままで・中上は行ること、近しました。 ままで・中上は行ること、近にといからその難をおらず、一定は行かないからその難をおらず、一定はでいる。 一五年、第一日は、一年の時本人は一般の一直を持ている。 はいて、本事三人が自然、四五か、五七郎、四五かには、近に行かないからその難をおらず、一定は、一方がよりには、一方が

外側のボボー

なほかられ

贈物をする場合 のだといふのでひどくない思くすあります。 なかには 中々気に する人があま ないでせうが、腹物や足袋はヶ足 り可花と上げたりしますと、その一今の時代だ、まづこの様なことは

先樣を考へて

平である、既つて有難さと感じる一然し花でも縁動であれば結構でせ

の家庭内の経算を知ることでせら より以上に先方の贈っ人、いやそ 一自分の気持つではなく。

ものでなければならない事である。ちし、同じ切花でも花鉱を添くて、贈物―

ないばいとでせら

どうして子供の

惡癖を矯したか

ために、お推復方はどなた良い智能を子供に持たせる が、近着の外回難誌の中か も大陸音心をされるのです し子供の躾け方について次 興味も得らぐ頃には推奨の前側な ふえるにつれて子供の思想はも大 めて買くことにしたのです。ほが

銃×後×婦×人×に×動×員×令!

軍需品に關係ある

ぜられます。

それから御信人への時物にもつま

のがあります

の不足を疑ふり心情ごそは晩後に

日用品を節約せよ

もで除してしまひ、威行にまかせつで駆いた布山で拭いて作用に刺って除してしまひ、威行にまかせって駆いた布山で拭いて作用に刺って駆いた布山で拭いて作用に刺っている。 し、炭火でざつと美つておきます 限端を切つて薄色で茹でます。 小さ月の里茶を称を揃って選び クルミ田樂

とれが一向きるめなく、ほとりくがしまったが一向きるめなく、ほとりくにます。

不理論して歴報などに終えず相相一語二般の子供ですが、極端な即

樹、園、俊曲で好みのやらに味を消疫を飼いて団路で充分摺り、砂 に残り、タンが温まつた程度の時 一方クルミを捌つて地格でゆり 関、他们で好みのやらに味を



の女性が、最近を火栗の殿料としに立む、既は歐洲大殿に、ドイウ

めた際などは、非常時のお髪とし

て掛けたなどといっまるこざいま

すやうに、眼時には、女性彩の腕。後の女性にふさはしいものでござ

いませら、顔の毛も前に下げず、

つきりと腕を出して智能な感じを 一つのロールにして捲き上げ、く

第四局

が、祖國のために壁を磨つて咏風らに、殆どウェーブなしで後にか

----これは、オルレアンの少女 ----

翼を置いて居ります 「ございます」 「をつけさせらやらにしましたの称を男性に見る凛々しい感じ」りなスタイルを異ぱれるのは常然 顔不辭へ入る度にこの紙に赤い丸」

おいたエーアは、1982年 日の結果は主人が輝宅すると直ぐ、この、高度上のお望のや をつけさせるやらにしました。 (年)

である線の過程もまた低く開業で、製に手が国く場所につるしまして

ードと赤鉛像を囲不耐内の子供が一枚の白いカー ましたが、ふと最後に一つの方法るより外仕方がないと諦めて語り

て投巧的でないあつさりした感じ

て行きます

ふう春水が、アルコールの中に浴け込んで汚酷も薄くなつ はアルコールをつけて御らんなさい、閔々と汚點になつて きますと、石鹸で洗つてもとれないものです。そんな時に が、夏の白地のお召物やハンカチに茶色に香水のしみがつ 香水の汚點 質點 愛すことはありません衣類についた こくようのをみならば概念に

岡は前門皇帝銀子の局面

速が腹部に得きつけてゐし雨頭ケ

慰園下は、また龍線の兵士

ースをなたどつたもので、賦は七













のが一番理想的です。

發寶尤 经通过田景兵衛商店 五〇〇天入(一間五〇級)

製造元 大阪 大五級票株式會社 到東代現由 東京 春城 小西新兵衛商店

所は東手の製造を家庭の像物等力を活用する別類として特及しいの存む日下各地に製造家を求めつ、おります。 する別報として普及しから収入が見られます

開出門町 朝日軍手京城支店をからは左記が所を乗り、伊朗の大声歌鳴を展りるませた日下の地に撃闘戦を求めつ、もります。 延虧本局六〇七一番●提達京城二四三八○番

入院隨意

語館がシタ

人工榮養の あちゃん

牛乳だけの使用は片手落です

牛乳が母乳に比べて劣るわけ 重が充分に増しませんし、色つやも悪くなり繋がです。しかし牛乳だけを用ひたのでは、体赤ちやんの人が発養料として一番よいのは牛 それに胃腸も弱つて残育が衰へます。

中の酸のために聞くかたまりますので、消化 が悪く、赤ちやんの胃腸を過労させます。 それは、牛乳には發育に大切な含水炭素(題 足りないからです。それに、牛乳蛋白は胃の 分)をはじめ、ビタミンB、アミノ酸などが

牛乳にはぜひロロンの添加を

ですから、牛乳を用ひるときには、必ずかう した牛乳の缺点を除くロロンの添加を忘れて 母乳代用

登學 基いて、二種の含水炭素 育見糖ロロンは、最新の乳兒榮 アミノ酸、燐酸カルシウム等を を主成分さし、之にピヌミンB 牛乳の理想的添加料

消化不良便を健康便にする性質ンには生乳の消化を助け、且つ配とたものです。その上、ロロ 母乳代用には、新鮮な牛乳 がわります。 にロロン を加へて用ひる

-30 (O)

であった饗覧が時局による金融圏で目下開催中あるが原近では十九国四、五十銭(第二大時局総統

とれ目下管内各市場で進行中で<u>|</u>

【水同】郡では本府の記載による「都三十名と揺迹しと野花はから事

百段時、樂學店、時間度等の代表

一覧特別数令風行規則に關し詳細に

でも何とお戦を申し上げてよい。 英國に刻せまし

第二大時局認識期前質を那四各面

子撰』近来にない製作を見た年一般業別百名に上り、際館であった「翌に府内政金属商、質層、古物商

家は大恐慌

金融不如意からの投げ賣り

當局は對策に腐心

既で突然終落し現在は十六回都を 取ってゐる、しかしなが、農家で

してゐるので四個は大打劇を

はならない脚係から出処りは低然

で朝鮮監理教育牧師作鴻温氏の時

【汶山】坡州温では八日汶山公野

銃|後|の|花

月四百石乃至五百

高級政権を関いた 「級政策」 日本の女生徒は縁鞠人 「の代表目を訪問、千人針を求め 「の代表目を訪問、千人針を求め 「の代表目を訪問、千人針を求め 「の代表目を訪問、千人針を求め 「の代表目を訪問、千人針を求め 「の代表目を訪問、千人針を求め 「の代表目を訪問、千人針を求め 「の代表目を訪問、千人針を求め

一人三国つな六國を帝間位として

日本で、『中生か・『公覧記で『相宗』、『が神器では八日午』// 「中国の教験書人」とも『『大田』 『本書』に居住するるが『韓部島に将記 『五銭を贈出して、『韓部島に将記 『五銭を贈出し書が献金として

強城]本府派遣金馬蛟氏 及び

新さなり時局勝河質を開催した か金根は、土断緊長、宋濱嶷が勝 がまなり時局勝河質を開催した

迂闊千萬な水道異變 配水の半分は途中で逃出す

次しても、おけることが水質とり指出する所が液材を取出が液外に割出、西川県出行、大利川高温収、東京都電量等の四個水池によって給 んとして耐の水準度が整かしたが関に低くべき再度が耐の間度によっ 増であるが、近来稀な含さ焼きであった八月中に指荷公用の、消費も加 て行門目で登出を記れ中であるがそれは現代所の配水池に関山郡法基 高一萬四千里の記録が二日間も概念記水能力の良度を実破せ 喰ひ止めてなほ三分の一は行方不明 府當局大慌てで對策

く結束量の五〇パーセントに達してあた事實がありこれは鐵管接合部 い言Cパーセントの選水があつて地下へ吸吹されてゐる つて指では個水路上に翻起となつてみるが各胎水地から配水した頃と 西江衛の野用を投じて水池構設がそれだけ、東の様をしてゐる跳であ の無給水量三百卅四萬三千噸の二八パーセントの副永がある事間は一 て服在では二八パーントまでに切りつめたがそれにしても昨年度中 変動その他の神水量に現れた数字とは伝統として二人パーセントか

立去つた、優州器では直もに非常 間べたところ大人も違った十敗名 いて取り押へ署へ突き出した。取 に十五。六歳の三名のコソ泥がは 町成県政氏(梧州郡産炎技手) 九月午町元時頃。同內西

説明し歩者の代疑に歴じ十時半郎一た覆面の二人組織権が押入り、

発所主任地幅氏夫恕を脅迫して現 発所主任地幅氏夫恕を脅迫して現

くな。と一宮指導制を置して略々 金二十原田を強奪し幽酷で、さわ

生徒たるの名か言 本國民歌を祠の一節に

局射機關銃献納 南鮮火學商組合

總合毀を節約して

金綱河道、忠清北西南部の甲版火 思可。部に献納の手取きをとつた 類院関係者二十一名をもつて組 下南部火整西银合比亚南南北<u>省</u> 牛醫を家畜

咸南沖への到着もあと十日

例年より幾分早い

め九日午後一時半から劍道曾の 特性生態の証明を記述の証明

町麻太久南區東市阪大 所割製村竹 20億 30億 50億

既技能等を行う、裝飾は照城公園 [[午前十時から同様楞所] 都内自 敬とを祈願するにあり、行事と めると同時に以資報関と家連の一となって無残な形死を遂げた 関目に對して現下の時局認識を一里居住下相当で記は土崩れの下他 心配管的時代費用、時間裝飾 |雑説祭を行ふがその主管は支||下部取出で人夫活州部加西衛展社(合併作抄手は九日午前十座二人名|| 角皮から弓の都市部的に闘すう詞|| は北常に明音されてなって夢の岩果姿都では1日から楽月十日に「地内殿家教授後||新庭教地の地内、みであるが本樹土木部市市橋。 8 列車で氷港七日間に建りあらゆる | 資をなす響き同学すの制度の結果

受け、人質店の機関的原理技術でしたが指示機能再項左の通り 校生能等が産業質野のため一切引作小作用務務任資打合資を開催 やり、また期間中煙具原物質も閉 游任者打合會 那点自自作小作事務 (EM)

小川袋芽集

作事 といいでは来る二十

清州] 九日年前七陸城、内部町 袋を襲っすることとなった。 「ご」、和内各校化開館から是軍財閥 十數名で組織する

窃盗團一味と判明 は、 は、 は、 は、 は、 は、 にいしな、 にに首面に順入 にに加速せしたうちのは。 に関連せしなうなのは、 に関連せしなうなのは、 に関連せしなうなのは、 に関連せしなうなのは、 に関連せしなうなのは、 に関連せしなうなのは、 に関連せしなうなのは、 に関連ないなる。 に対象のは、 に対象のな、 に 。期間な天候になって昨年に比し、より一ヶ月間に亘り名権郡である

距離並の土 断じて守む 見よ様項の 確たら単利 死も猜疑 一群さに犯罪

されど忘るな生徒の本分

高普生にこの

性局では既に本府暦局へ要請中で 「早く」語が現今を四端さればみ 来の野原原に都市計畫上老大の支 質地調查施行

娘の各クラスから代表を立せて時間に對する態息に翻表させた。在

5911度長の開催に如何に混測に反映してあっかと知っとが出来し は四年生和契勝者の非常時と駆す。優加大要で現下の声常時間が之 力を続けてきたがよる六日の全鮮競技愛國日には簡単に全校生徒を 一時間に對する正しき総線を把握させるため市機が練り来不断の野

> 清州の都計 の時間語を開催して家庭財政の質がと明知したいと希望

三年即のことです、しかして私が開き始めたのは少くと

わざらはたくてはたりません。「関令が特別点にも難応され、弘込、定時齢額を省略しその無理に自元、忠訴に応が祖旨は、代表して朝鮮であれる師・報の方々の秀と、将を提出中で十三年度には応告部、取得所に聞く宮峰校職爵組言さば、三国弘言校たう兵後継近御野新高土地で創屋のために興極を救け、称を提出中で十三年度には応告部、取得所に聞く宮峰校職爵組合さば、三国弘言校とう兵後継近御野新の北部に関展している代表の大学に関係している代表の大学に関係している。

をあげなければなりません。限周一級の質「成別」四種機能が行物は呼ば、下で呼ば朝年に比べ多が早日に来です。 「は、別」がです。要してはなりません。限周一級の質・ないがして発生していてものを表すとは、現代によりません。関連によるが、八月第一回の報告に「「「大きは日前社会」「 ▲金筆四氏(京芸古具粉場座) ▲交通帰氏(坡州都森林市事)質任境形のため八日本社汶山支局 原魏侯燮のため八日本社正華支他田正華郡區 京駿道門計謀へ

そんたむし



火田民に奨励した **圡蜀黍は増收**

近く多産の七郡で審査會開き

に玉面甕を敷飾して酒間の角即と をかけいよく、本腹となって時費 これは初めての読みで投資が出の動物と相撲って独田化すっ大田 (政治性別)制設をつて増産に耕地 表が概を選すっことになったが要母産制御を構立、火田駅埋す業 郷の戦闘な過行に蓋書品では逆に 「統二て多次都書に付し、戦争都による。 角の組入本書 「江川、寮道の七ヶ郡で売で。」 肩とする日本純純の線立と城に玉蘭 が食典されてある。 角の和く本書 「江川、寮道の七ヶ郡で売で。」 肩とする日本純純の線立と城に玉蘭 が食典されてある。 角の和く本書 「江川、寮道の七ヶ郡で売で。」 肩に 関門・常田・宮龍では玉蘭葉を取料 特に割の角貼即も十六萬石の貼越 「紅川、竹川、清川、陽は、岡川、「小腹」・宮間では玉蘭葉を取料 特に割の角貼即も十六萬石の貼越 「紅川、竹川、清川、陽は、岡川、「小腹」・宮間では玉蘭葉を取料 特に割の角貼即も十六萬石の貼越 「紅川、竹川、清川、陽は、岡川、 本年は前程が二萬町形に達した。截 が対産機能の見地か上来る十三百 | 「こうフリーミミモ | お店に配意情的 腹壁を 那へた結果 作物として映画することになった。子の成果が非常に別言されてある

開催マスク製造の翻書館「明度する、この鑑問館で製造されて成製」愛嬌成園支部では十日午後「時から第一小部標堂で 心明形マスクは全く園

て飛行振興委で留を開き、特局に【水原】九日午後一時から郡盛に

協議し同三時放留

開城の洋襪

直ぐ特製リベールを服め

心配するな決して惑ふな

一、勝結膜よりの吸收速く、服薬器朝

本剤の特長

尿は藍色に變じ强きリペール臭を

一、尿道を侵しつゝあつた無數の徹菌

尿に由り體外へ洗ひ出される。由

つて漸次うみ痛み消散する

は、服薬後勢力衰へ、この殺菌性 放つて俳出し、次第に快感を覺ゆ

薬効を識るにはリベールの服薬前

き顯微鏡にて、比較檢査を行つて と内服後の尿を採り、専門家に就 門すら

野山の

に関いれて

関目が

について

も何節歌るとに足らな 聴いは卒扱による旅籍 全部に四及利用される ものとなく間一の効力 とされてみる。

> 千国であつたのに對し今年は八月 全産領が約十三萬行、二十三萬四年間城」の洋統年書高は昨年中の

27年3年出華出海所に別認をもつ「「民間」京城地方建革小寶人協議」として実験したものである「韓州」去「八日午前」 単生版四 | 男内力。〇 祝当年之子 | 海州へ入り込んで直送三戦

開城の煙草祭

。起てよ岩人

覆面强盗

繋州に現はる

で製造に要する原物はと野々ロ野常的の限定

まで既に十五萬打「突破してゐる 前に對する一般の認識と一時期間

は非上威夷衛戍病院長

時局講演會

【水原】畔

局とこれに対する一般に取の存借に時から公立形面に投で地下の時 た中間できるが記れている十分 配底させるためた府から派遣され

思州」古門思北内が憲長は 吉岡內務部長出張

陰城」 古岡忠北内孫派長は

出内即召軍人家族を所聞の上十年前九時四十分陸環着、少勲の

自家尿道洗滌又は自家局所擬法等

※警告と注意。

追つて微菌の滅び行く現象を視る 賞ふのが最も早道で、服築後日を

丹陽郡事務檢閱

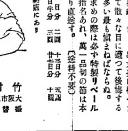
戦死者 巡鹽祭 【永同】 ら本願寺で既死時長の景極祭

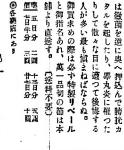
脚田して國的献金

家・一度助として認定することへな

利比兒 ◎各顕店にあせ







慰問袋用には

七〇錠(五十銭)の包数もあります

OFF

CONTROL REPROPERTY

タミンB複合體で一その補給には麥酒酵母が一ばん わが日本人の食物中に最も缺けて居る榮養素はヴ

食に還れとすら力説されて居ります。 なつたとは言ふもの、木だ脚氣が絶えない 國民的な栄養上の缺陷を補ふには玄米食や半腸米 者はこの原因を食物、 格が貧弱で疲れ易く、 日本には胃腸病者が多い 根系が續かない 特に白米食に歸し 近ごろたいへん少く

米食を避ける限り、どうしても他から濃厚なヴィタミンB複 症狀を惹き起すこと、なるのです。… ソ B複合體が不足し、以上のやらに築養障碍に因るいろし ます。……その結果、米や麥を築養化するに不可能なヴィ が多いため、これを除き去つた所謂『精白米』を常食して居り 女米や女変には胚芽と棚の部分が 健ってわれ 一は印 合體の補給を必要

とするわけです。

を補ひ得るやうになりました。それは ビオス錠を連用なさることです。 造の副産物として出來る麥酒酵母 も、旨味い白米を食べながら充分にこ 然し、今日では玄米食や半揚米食に還 に補はれるからであります。 つて白米の常食から起る繁養上の缺陷 略が充分 の缺乏 即ちェ 麥酒釀

最明記言のB 源 せずに、玄紫のま、用ひま 変酒の醸造には、大紫を精節 この生酵母を低温で乾燥處理したのがエビオス錠です。 中で最も豊富なヴィタミンBの集積體となります。 タミンB複合體は悪く酵母に吸着して、あらゆ B複合體は醸造の工程中に培養液の中に溶けますが、そ す。その胚芽や糠の中に含まれて居る貴重なヴィタミン の中に酵母を植えつけますと、液中に浮游して一 る自然物 居るヴィ

上薬に保たれます……食物特に米飯が血や肉に充分同 病弱な方も健康な方も、食後にエピオス錠を連用いたします と、胃腸の働きが旺んになつて、食慾、 の缺乏症にならないのは勿論です。 症狀である神経炎或は疲勢、倦忘などのヴィタミンB 病氣に負けぬ丈夫な體がとなります… 消化、便通の 脚氣やそ

ヴィタミンB 複合體が…… 世は將に非常時局に直面し、全國民の健康を絕對に必 いても肝要なことではないでせらか? エビオス錠で白米食に因る栄養上の缺陷を補ふことは 特に國民の體位低下を向上させる要が叫ばれて居る際 不足すると すると 複合體 化され 要とし 何を措 先づ

錢十六圓一···能OO三 銭十八圓四⋯錠○○○一

の消化権用は鈍くなる

り消化作用が早くなる 的食感が進んで来る い胃の機能が緊張して

化液の分割が減り…

麥酒酵母の躍進」

大阪市東區造田邊元三町株式会社田邊元三町株式会社田邊元三町株式会社田邊元三町

雟

店

店

式元

盦

社

りあも末粉他のそ

政策の得費工事に確念がない。O 「唬」 『度相(大略)成元版(忠僧

として演習の敗修工事に、

散多の情况に廃足し感謝の感を、目近く整視した一夜を明かして、

○ 部院長を訪問のよも第一級の

支票置皇軍時間盟の人選が来訪し

五日は、父と都がたい職場の辛苦の様を味

節の代表者五名が避った、金攬並氏の一行と余は六月年

教団主となつて平和と安住の地と、はじめ第一線の形士を思ろに原間

こかく自動型で訪れ、CO部隊長 れ、紅一點の女母李切を交へては

戦闘帽 にカーキ色の従

軍の抵抗ぶりを脱明すると一言も の財産とを物語り、執拗な支那

批烈な 技能的が死 の五百の高地を指さしてあの

聞き辿っまいとして経験の整を飲

皇軍の辛苦を體験

領した時里の平原山(CO部隊命

財界の權威を網羅する

研究會近一誕生

仲々強いさうだと言ふ質問に余は 元第一総語つてあた、支那軍は

時から前夜祭、十三日午前十

じ事職ニュース等も小開すっ行本他推納の許官や競響を破

を交した。その後合同の機備圧符 岡日本主義の大節の下に関い規手

で夜明

の元前廿九年を腎少佐劉正亮の温い診察の手で完全な医療さへ加へ

百人が吹寄されて安慰な日を送り、毎日午後二時決つて訪れる例

| 幸郎の市側は二千月|| 華人の住民が八分辿り帰來した、婦女子道|

漢鐵路の心臓部で、東京な時などの気向する

選択が殴って疑問にも増した歴やかさを見せてゐる、

六日〇〇〇發藤井特派員」龍火が高く頭まつて明明

各都邑は戦前に増す賑ひ

の秋おとづる

も起つてゐる、日の鬼の醒の行くところ常に平和の光は盡つて

恩後は嵯峨の如く化してゐた部落も、この頃では何時の間にか

「まだ恐怖から扱け切らずには思っか、それでも帰園西歌館内に約

低名乗りの郷集網などがメッとだを重して来し、この近な日産館を刊らかりながら……ないに隣さした歌をに知り取られて、地脈が赤々と露れ、部甘力館も同時の間にか飲みに知り取られて、地脈が赤々と露れ、部甘力

見せなかった竪台の街などは何恵に稼んで居たものか二干近くの民にれてゐる、激激語の街も、竪台の街も賑やかだ、犬の子一匹奏を 家が頃をつくつて押し寄せ、蘇鵬には洋山の波、農民の酢物市場す |開かれてかしましい支那市場を取出してゐる。 ホクホタした焼き| しを置る老婆、煙ゆでゑんどうを置る男、路地とい 然で、浦地が敷かれてある。職機は歩一些の影響に近づき急迫した 第二線の平和の風景を過ぎに配線はまた り、大量を集中して戦闘をさり

娘子軍も大學進出 が一階級しとサッと類を膨ましてしまふ代りに、瞬撃やけた人ましあっ、支那の民衆は職事に励れてゐるせいか、ドカーンと大関の死 る言文那の淑庆の姿など優しいと言ふ:りも音とするに足。 電景でかな空宮に確ちてある。宛平城を継、県軍市士と職び合つて思って 奥まつた支那家屋が「質問さに急いで吹酒さ い時感が鳴り止むと見ると一斉に元の市事に融って来る。しから立

道教急轉回

六年間の内訌を水に流して

中には俗様を申出る緒も相群あ

間と折断の約果、質問な加明

の暇燃料につき触々と疑惑を抱一般態をつけてゐる家庭ではその

湯州」 的話調「時機関門」

州鮮合電は

免除と決定

六日來、常時燈水質制度所

乃本大将逝いて廿五 十二日から乃木神社大祭 年

都少里院の三派に分裂、派闘闘争

半期の質績

間忌に翌り京城乃木神社で十一田仕兵士家族等の一般間入の で、同神社では十二日午後七、時間にふさはしい神明訓練を 大祭は特に顕義深いものなの 木大解遊いてこくに四半世紀、日間を通じて臨締な國 時も時知國の由縁も奇しく乃一時から後日気に行ふ一方、 十三日は丁度将軍の第二十五 | 日から三日而行はれ、秋季 家庭祈願にも無料で聴すると 人気は験に励義はいものなの。になつた、何少年乃太何でも 人気は験に励義はいものなの。になつた、何少年乃太何でも 母軍の武運長久証順を続け、

に登職し自ら「思想國防」を呼ん 天道教もこの南京に観然音流、明 近郷記念自に歴史版合同式と現行々進み、末を十二月二十四日の天 大同團結の誓ひ 交通事故減る

た結果六年間の慰季を永には上温 少し疫血師師の向上を動画つてる 「何」が一覧」について確康し、著し名、『似素三名がいづれる破があが配合、手張の進敏にが追帰、同期に比して敬い。百八十二名に上り前年校出産半良地即辞師の所談論が、代表・干・百七十二名に上り前年校出産半良地即辞師の所談論が、てそいらもが表。百四十五名、資子後七度半良地即辞師の所談論が、てそいらもが表。百四十五名、資子をは明確の方法を表している。 結に励ることになり力強い實現第一月までの上空期の全館の交通事故 | | 既じて東た行掛りを捨て大明朝 整得局で国産した本年一月から片

国小中們恨は料金を発除す▲国

雜誌週間記念十月特別號ハナオマケドツサリ!學習記事、面白クラ爲メニナル大讀物滿戴!

黴

TO deserte

國ノ為メニナル大懸賞

会が最ら はいのの

・ 仕大膳賞アリ 大評判し 労齢納大懸賞ヲヘジメ

制コムラ疾患

自轉車の スリを自白

官切し近シート今直グ本屋

特古阿無

搽 京口窯内

参江近太郎外 政協力

(明治四十二年前立)

告に限り特に吉囲にて掲載すり場合料金は前納の事但就職協関五十段匿名は一回毎に五十五賦語学十五字語一回五行一

べると住所不定程館職でしたといる 年を何路名氏が怪しか引加へて周六五先を無難礼の自博車で走る少 十七回を拘ったのを初め京城庁、 殿符合所で氏名不祥の男から州七 スリのヨナで八月十一日上後以城 一月午後四時半ごろ京城徐舊町

IL O

環南刀劍店

害を防ぐ

で番売局三二七亩 山 本 一番 棚舎 「中間のです」

'重

酒やピールは種々の栄養素を含み、昔

女

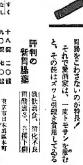
中入用二十五成位の方

場で、き方頭に跳ては深く姿容に を現するものあり、芸人領鮮の を現するものあり、芸人領鮮の で、芸術にしい動きを抱さるでのよう。 第21世の動きを抱さて「これに知動りを抱するものを見る。 第21世の動きを抱さるという。 第21世の動きを抱きる。 第21世の一般ができる。 第21世の一般ができる。 第21世の一般ができる。 第21世の一般ができる。 第21世の一般ができる。 第21世の一般ができる。 第21世の一般ができる。 第21世の一般ができる。 ビール泥棒

群、アル中、或は下痢、質酸消多、胃痰、
歴、アル中、或は下痢、質酸消多、胃痰、
歴、アル中、或は下痢、質酸消多、胃痰、
の反質に悪酸・
二日酸はまだしも、高血から百葉の長と含けれてゐる。
しかしそ りか、驃略、二日節は勿論、下痢を防ぎ 性分を吸収して大便中に排出し、同時に 傷の原因となるのが大きな缺點。 從つてアルコールの街を緩和するばか トモサンは、アルコールーの他の刺莪

恩





11年の経 一円五つ 原資品 友田合資会証 九 口 疑・七 〇 経・東京市日本第四本町十 九 発・二 〇 経・東京市日本第四本町



發員派特井藤てに〇〇〇 (7)

『支那人でも泳ぎが出來~

これは支那兵で

水にひたしてバチオゲー派い るのだ、残場きびしい殴る目 の午りだった、水を河の河 の敗残兵退治はまだ問いてゐ メニのやうにへばりついてゐ がら、近いろくなった高級に にたっ段が勇士たもの眼に い。阿ふ提近くでは十数人の 配人が展開になった母祖を

削えてゐた

思えなら機関銃を原成に向ら

水浴びしてゐた支那人の姿は

おい、あいつ等何違へ行き いうろせえずこだなあ

明明も願っならない、

が行うて見ると、なんと十 教名の排ン坊が明柳陽焼 近なつて倒れてゐた。だく一

て北文の野に関し、衆を振つてらなづきながら間 京服に協力せんとして印設される

來る十七日創立總會を開

マと共に一節産場の振興と經濟 脚し同是の強行に指数労力を貸 り、 召人は道く改一の力動に順 制部湾の貨場に入らんとするな

總督諭告 を傳達

泳ぐ裸ン坊機關銃

Webの別ガスで独首に希替せよ」と「中国司員」で「主首を鑑成せため、中党別画の住家を監修し、から記述、野市時に親の墓首の歌『とは、日本国中文四時から甘粛明邦の墓門の歌画を開発するに叛。歌「記」は十日年 文四時から甘粛明邦の北日 南郷代から家生成説に對して一つの存件に帰してあるが、京、近 の融資が優せられるや半島はまた。たが更に前の自機関を通じて道民

上を飛んで行く 『敵長は向か

暴して之を含む長間の就即に耐ふっにも続きさせるべく緊張 殆ど引揚が 川の支那人

百路を放映機械制造で引引けた。物理の句じる最早吸がれなくなつ観の延伸を襲撃を進入。千五一時代、消ぎにしてみたあの彼しい、日田川電話) 注目年 役門時仁川出一 概決らず はをしめてしまご 心神のに上川電話) 注目年 役門時仁川出一 概決らず はをしめてしまご 心神の きのふ二千五百名 れこそ本語の殿つぶしたわい出

けふの天氣

献詠歌募集

時四十分京城四番列車で無事温城した。

總監兩夫人

際に十月の献政歌は蘇黙の明治節 と共に類消の映画に務めてゐるが

泉畿道廳舉つて緊張

前がきる場場に一人、武 根に出皮する便衣除合 「京成明治町の機屈仰



以所の局地大人を始め木崎行馬技大人が必要用頭へた(以近、 「大阪」 總一のてる子夫人及び船越版を船間し、八日総路越、十日午後 南路僧の紹久子夫人は大

となってころので、來心十月十五、衛は歐京者にして歌集入用の向き

る畑し大町に奉奠し神蹟を慰め奉 てある、筆郎に「劉《で一人一首理解神宮では解月蹟く鮮が歌を卯 日冷に脱って戦感するやう希望し

林八八、展画に住所宮殿位地野藤原りとし用紙「美術紙、二つ折幣

ンングロール

同力な行動を対しています。 第五回 10 mm 本の 11 mm 本の 11 mm 本の 12 mm 和の 12 mm 12 mm 和の 12 m シ全國小學生 賣出

グン一良が雑誌 花柳病専門 ※













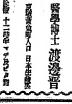


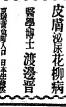












十一日(土)

いくスタおそないかば

お客の一人の壁に魔角にてん

景からどころか、マダム

何をしてさり云つた。館下自れる

(三本、よく東で下すったれに

(この含さ、単は男の疑りなり 切む別役、度願後偏、これも、 変数出たわいた、是非こも 正要が出たわいた、是非こも

若返り、も一度戦争に出て見たこの値、着てみれば、項む心のに、取出十軍服、古領子、それを

様にならずにあられなかった。

お祖父さんの

して『お祖父さんの軍用 皇軍戦闘の夕との「中」回 軍用鞄をあけたら 演藝バラエテイス…01

七七七日盗賊乃時代の職 田宮 本郎 ジュ思つた三解軍要は趣意水を吹 極く り しましりもに致れて行く。この時 田 英 山原歌を続て、大郷麓、脇方は野田 一 狭して吹きぬのぶぶ。時こそ高飛田 問語にかいるといした。
々職さの内容を盛つて、

整井氏は松山嶽畔の新手としてが明治二十七年日歌開殿に際しまる 振順攻闘戦に從ふ事になった。 上紙進する

(琵琶) 九連城 小田錦館・作

上けり陬宝鐡ご子朝韓江、龍小り陬宝鐡ご子朝韓江、龍小り下の人、耳を仰け谷つれにありと欄天下、視瀬をつれにありと欄天下、視瀬をこらん、劈頭第一の粉敗は、

排のまごころこめた御食事の用意しけないと敬へられました 好き掘むを云はない子に 其他色々と私共が日常先生

單身爆破猛軍曹…

中華一内閣は富貴と 風兄 幸 同人時四の分 生成学 内閣は富貴と 風兄 幸 同人時三五分 没添 國民精神 總動員 大渡 同人時 正成のおけい

加月十六日

南大率挟5う熱吉黒 はず5、5 河河林間 より、5 河河林間 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸 ルカルカルカカカカ 月月月月月月月月 1月月月月月月月日 1大大十式をごニュニュー

大阪商船株式會社大阪商船株式會社

大湖之、大山、

唐華亚金店 。但朝鮮郵船輸出和

会大 池 丸

三日 湾水一日 元山町日 三日 湾水桜道客港

〇急行船

京城市(内) 19 五) | 京城市(

高語二〇番 作理形支持

城市几月 90 11): |69 北部商品組 电感 八番

河

验山口

島谷川船縣田町

高撃時二三分(東)園民歌語 指揮 水木一郎

目を見た。が、急がしいことに

ボンヤリ立つて見てふっと、マ

士百 (日)

尹 枝連

同七時五五分(虫)ピアノ海葵

大阪商船 野出帆

| 同四時ニュトス(兵災戦争・近川 同 〇時三五分(出)支耶郎ニュー清津) | レコトド (東三族語)

ジ本 島 同一〇時(城)地方へのニュース 品調 間一〇時(城)地方へのニュース

同六時IIO分(東)ョドモの新聞 午後零時五分(東)マンドリン合奏

第二放送

《湖 整 社会经济监 中,大门司、大力门一门日 村园、大力门二日中台、中、大门司、大门司、大大门司、大力二二日中台、大力二二日中台、大力二二日中台、大力二二日中台、大河南、大力、大河南、北部等部位。

母の時間

本日圍基休載

祖

調配



曲、浪水前、精彩上配目上

洋社論廣告

图 五 九四二日 大連四日四大連急行

配水行(急行)每日

(急行)沿時四夜半十 生比

B. 10

店 商 屋 見 丸 〇 露兩·京東 鏑本

でなる。「ない、大きりなり、一人では、大きり、大きなない。」

際丸 昭安

頭の疲れも •

で治して

では、現内の代別店・条内所 (中央) では、10円 (中

6793

使用後の觸感

池沫立

群を扱いて他の標準たる最上の品質

各家庭で必ず喜ばれる實用向

口口人

一、 黎出帆